

TPARK

Right Warehouses... Winning Locations



ISSUE
14

www.ticon.co.th



Khon Kaen



TPARKは北東部(イサーン地方)
での拡張を目指し、コンケン県
で初のプロジェクト
を開始します。

DENSO...
LEADING YOUR
DRIVE FORWARD
page 3

少子高齢化が進むタイ
page 6

イサーンの地方...
インドシナへのゲートウェイ
page 8



Mr. Patan Somburanasin
General Manager
TICON Logistics Park Co., Ltd.

皆様もご承知の通り、地方における消費が拡大しています。これは地方経済が成長していることの現れであり、販売増に備えるために各地域における在庫保管の必要性が増すこととなります。このことから、私は、今年以降、地方における倉庫のニーズは急速に高まるものと確信しております。

高品質倉庫の開発をリードする企業として、TPARKは、主要地方都市において大規模事業会社のニーズに応えるための新規物流センターとしての適地を模索しておりました。現在TPARKは、北部イサーン地方の中心であり戦略的な場所であるコンケン県に土地を確保しています。また、ほかの地方においても、さらに土地探しを続けています。

TPARKが地方において開発するのは、レンタル用の高品質標準倉庫群から成る物流倉庫団地で、開発される倉庫には、構造、サイズ、インフラ、内部設備及びプロジェクト管理システムに至るまで、バンコク近郊で運営されている他のプロジェクトと同一の基準が適用されます。

TPARKは、様々な場所における顧客の皆様へのビジネス上の要求にベストな形で対応するため、今後とも継続的な成長を目指していくことをお約束します。

JUNE 2013 ISSUE 14

CONTENTS



3 SPECIAL COLUMN
DENSO... Leading Your Drive Forward

4 COVER STORY
TPARKは北東部(イサーン地方)での拡張を目指し、コンケン県で初のプロジェクトを開始します。

6 JAPAN CORNER
少子高齢化が進むタイ

8 COFFEE TIME WITH LOGISTICS GURU
イサーンの地方...
インドシナへのゲートウェイ

9 EVENTS NEWS
株式会社デンソーは自動車部品用新倉庫をTPARKバンナに正式オープンしました。

9 TPARK'S NEW TENANTS

10 AVAILABLE BUILDINGS

11 TAKE A BREAK
パラネームヌアン

TPARK
Right Warehouses... Winning Locations

TPARK NEWSLETTER

Consultants: Mr. Patan Somburanasin, Mr. Tan Jitapuntkul
Executive Editor (English): Ms. Hataikan Duttadintorn
Executive Editor (Japanese): Mr. Takashi Fuse
Executive Editor / Art & Design Director: Ms. Hataikan Duttadintorn
Editorial Staff: Mr. Thanatdech Sirivoranan

Publish on Behalf of: TICON LOGISTICS PARK CO., LTD.

175 Sathorn City Tower, 13th Floor, Suite 1308, South Sathorn Road, Sathorn, Bangkok 10120 Thailand
Tel: +66 (0) 2679 6565 Fax: +66 (0) 2679 6569 Email: logistics@ticon.co.th www.ticon.co.th

Follow us on Twitter@TPARK_Live

DENSO

DENSO... Leading Your Drive Forward

デンソーは日本に本社を置き、世界中の主要自動車メーカーをお客様とする自動車用部品メーカーです。デンソーは安全・利便・快適・環境に配慮した製品の開発・サービスの提供にこだわり、人・自動車・環境が調和可能な社会の実現に向け尽力しています。デンソーグループとして36の国・地域に200拠点以上を有し、全従業員数は約130,000名に上ります。



- サイアム・デンソー・マニュファクチャリング株式会社 燃料噴射システム製品 (ポンプ・インジェクタ)の製造
- トヨタ紡織フィルトレーション・システム・タイランド株式会社 オイルフィルタ、オイルプレッシャ、ヘッドライニング、エアークリーナ、エアフィルタの製造
- アンデン・タイランド株式会社 フラッシュャ、リレーの製造
- サイアム京三デンソー株式会社 ソレノイド、ポンプモジュール、ポンプユニット、フューエルフィルタ、ディーゼルポンプ、セジメンタの製造
- エアシステム・タイランド株式会社 自動車用エアコン配管の製造

タイ国内におけるデンソーは1972年に創業し、現在ではデンソーグループとして傘下に9社を擁しています。それぞれの企業の事業概要は下記の通りです。

- デンソー・インターナショナル・アジア株式会社 豪亜地域の統括事業運営、製品研究開発
- デンソー・セールス・タイランド株式会社 世界の主要自動車メーカーに対する自動車部品の販売、アフターマーケット製品の販売、タイ国内60拠点以上のサービスセンターを通じたサービスの提供
- デンソー・タイランド株式会社 クーリングユニット、エバポレータ、オルタネー



タ、スタータ、ワイパーモータ、マグネト、グロープラグ、コンデンサ、ラジエータ、インタークーラ、オイルクーラなど、電装品・エアコンシステムの製造

- デンソー・ツール&ダイ・タイランド株式会社 金型、治工具などの製造

デンソーではQCD（品質の維持向上 (Quality)、低コスト化の実現 (Cost)、徹底した納期管理 (Delivery)）を重視した事業運営を行っています。また、持続的な発展に取り組み、タイ国がアセアン地域の自動車産業中心地となることを目指しています。これを実現するためには、製品輸送面の努力を欠かすことはできません。そこで、デンソーでは製品倉庫をお客様の近くに位置するTPARK Bangna (バンナートラート 39KM) に設けています。TPARK Bangnaは、製品輸送面におけるお客様のニーズを満たすファシリティが備えられています。

詳細は www.denso.co.th をご参照下さい。■

TPARKは北東部(イサーン地方)での拡張を目指し、コンケン県で初のプロジェクトを開始します。

コンケン県は北東部(イサーン地方)の戦略的に重要な位置にあり、ASEAN経済共同体(AEC)実現後に経済の要衝となる東西経済回廊が通っています。



1. コンケン県の地理的条件の良さ。即ちイサーン地方の中心に位置し、地域内の他県への物流拠点としての利便性や効率性の改善が可能であること。

2. コンケン県の都会化。民間企業による投資がより多くの人々を引きつけ、これがより高い雇用を創出し、結果として消費財を中心とした各種商品の消費需要の拡大に影響を及ぼしていること。

これらの状況を踏まえて、TPARKは200ライ超のプロジェクト用地を取得しました。標準仕様の高品質倉庫の開発に注力しつつ、地域内における在庫品保管や配送拠点といったニーズに対応するため、標準仕様で且つ高品質の倉庫を有する物流団地を開発します。

また、イサーン地方はタイで最大の人口を抱える地方でもあります。タイ国経済は、自動車購入支援策、最低賃金引上げ、農作物担保融資制度などを含む政府の支援策、更には民間企業による投資拡大などによる国内消費増加により、成長を継続しています。

TPARKがイサーン進出に当たってコンケン県を選択したのは次のような理由によります。



タイにおけるイサーン地方の役割

有機農業による農産物

代替エネルギー

インドシナへの玄関口

イサーン地方のグループとしての 発展方向性

北部イサーン1

(ルーイ、ノンブワラムプー、
ノンカイ、ウドンタニの4県)

- 高付加価値商品を提供するための農業構造改革
- 近隣諸国とつないだ商業・観光・投資の奨励

南部イサーン1

(チャイヤブーム、ナコンラチャシマ、
ブリラム、スリンの4県)-

- ジャスミン米の商品価値の確立
- 代替燃料産業(エタノール)

北部イサーン2

(サコンナコン、ナコンパノム、ムクダ
ハンの3県)

- 近隣諸国との経済協力関係の構築(例:契約農業)
- インフラ・国境地域の開発

中央部イサーン

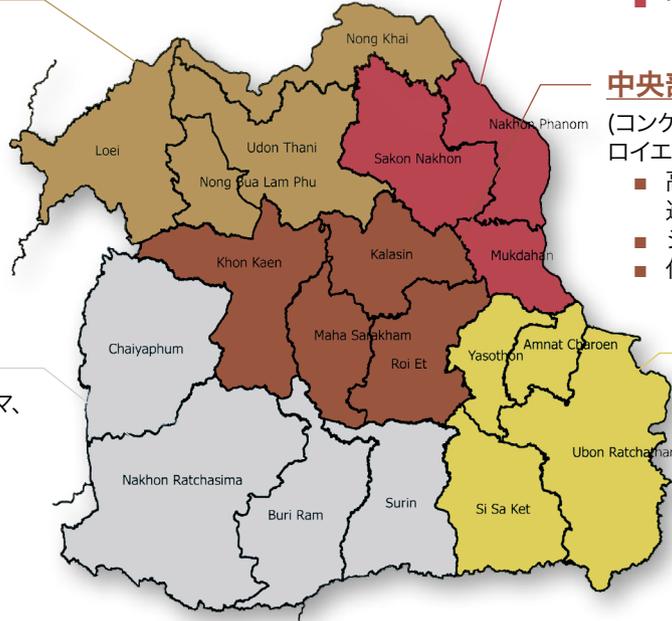
(コンケン、マハサラカム、カラシン、
ロイエットの4県)

- 高付加価値製品を生産するための進んだ先進的農産物
- ジャスミン米のブランド確立
- 代替燃料産業(エタノール)

南部イサーン2

(ヤソトン、アムナートジャルーン、
シーサケート、ウボンラチャタニ
の4県)

- イサーン南部の商業・投資・観光の玄関口
- 水資源と水管理システムの開発



TPARK コンケン

TPARK コンケンにはコンケン県ムアン郡からわずか10kmの場所に位置します。イサーン地方の各県に向けて出荷する商品の保管や、物流センターとして適しています。

プロジェクト詳細

プロジェクト面積: 200ライ

倉庫面積: 16,000 m²

プロジェクトへのアクセス: コンケン市街中心部からミットラパーブ通り(国道2号線)を、ナコンラチャシマ県方向へ約15km進むと左手に見えます。ミットラパーブ通りに面しており、タープラタムボン地方行政事務所交差点が目印です。



出处

- 東北地方南部クラスター開発計画(OrBor.,SorKor.YorSor.OrJor) 2010~2013年
- www.bot.or.th/Thai/EconomicConditions/Thai/Northeast/Pages/index.aspx
- www.bot.or.th/Thai/EconomicConditions/Thai/Northeast/BusinessTrendReport/DocLib_BLP/BLP_Q42012.pdf



Mr. Takashi Fuse
Advisor
TICON Logistics Park Co., Ltd.

少子高齢化が進むタイ

現在世界の人口がどのくらいかご存知ですか？ インターネットで「世界の人口」を検索しますと、「世界の人口は現在、□億□万□人」という画面が出て、世界の人口が増加している様子をリアルタイムで見ることが出来ます。

これはアメリカ国勢調査局と国連データからの推計で、この原稿を書いているタイ時間2013年5月13日午前9時時点では、最初の四角形には71が、次の四角形には1054という数字が入っています。最後の四角形には4桁の数字が入っていて、1の位が大体1秒に2-3人ずつ増えています。即ち、数秒経てば10の位が増え、更に数十秒経過すれば100の位の数字が増えます。タイ時間2013年5月13日前9時時点の世界人口はおよそ71億1054万8,000人で、これが刻一刻と増えて行く様子をこの画面で見ることが出来ます。

国連資料によれば、世界の人口は1分間に137人(1秒で2人強)、1日に20万人、1年で7,000万人増えている、世界中で1年に6,000万人が亡くなり、1.3億人が生まれているとのこと。つまり、現在の世界人口は約71億人ですが、これにタイの人口よりも若干多い人口が毎年追加されているということになります。このペースが変わらないと仮定すれば、世界人口は10年ごとに7億人ずつ増えますから、40年間で28億人増加し、今世紀半ばの世界人口はほぼ100億人に達するという計算になります。地球は果たして100億人もの人間を養って行けるのか。食糧問題やエネルギー問題が益々深刻になることは明らかです。

2010年の日本の国勢調査によれば、日本の人口は1億2,806万人で、その前の国勢調査が行われた2005年から横ばい状態です。このうち、65歳以上の人口は2,929万人で、2005年と比較して14%増加し、総人口の23%を占めています。一方、15歳未満の子供と15-64歳の労働人口は2005年と比較してともに4%ずつ減少しました。総人口に占める65歳以上人口の割合が23%という日本の数字は世界で最も高く、次に高いのがイタリアとドイツ(ともに20.4%)です。因みに高齢人口比率が高いのは欧米諸国で、伊・独に次ぐのはスウェーデン(18.2%)、ベルギー(17.4%)、スペイン(17.0%)、仏(16.8%)、英(16.6%)、ノルウェー(14.7%)、加(14.1%)、米(13.1%)、露(12.8%)などです。



“世界保健機構(WHO)統計によれば、2012年のタイの合計特殊出生率は1.6であり、若年人口の増加は期待できず、タイは高齢化社会に足を踏み入れつつあると言えます。”

1人の女性が生涯に産む子供の数を合計特殊出生率(TFR = Total Fertility Rate)といいます。これが2.0以下になりますとその国の人口は現状維持または漸減になると言われています。2012年のWHO(国連世界保健機構)資料では、日本のTFRは1.4でしたので、これが大幅に向上しない限り人口は間違いなく減少します(既に始まっています)。国連の人口統計では、日本の人口は2010年の1億2,800万人をピークに以後減少に転じ、2030年1億1,700万人、2040年1億884万人、2050年9,969万人、2060年9,032万人と予測されています。

"各国の65歳以上人口の割合(2010年)"



合計特殊出生率が圧倒的に高いのはアフリカ諸国で、上記のWHO統計ではニジェールが7.1でトップ、以下マリ、アフガニスタン、ソマリア、ザンビア、東ティモール、ウガンダ、チャド、マラウィなどが6.0 - 6.7で続いています。欧米諸国は軒並み2.0以下です。アセアン諸国の中で最もTFRが高いのはフィリピンの3.1、次いでラオス2.7、カンボジアとマレーシア2.6。最も低いのはシンガポールの1.3。タイは1.6、ベトナムは1.8、ミャンマーとインドネシアはそれぞれ2.0と2.1となっています(いずれもWHO統計)。アセアンではシンガポールが急速な少子高齢化に直面し、2020年には65歳以上の年齢層の割合が14%を超えると予測されており、労働者不足を補うため既に多くの外国人労働者を受け入れています。現在530万人の人口に占める外国人労働者数は126万(約24%)となっています。

"食生活や生活環境の改善、医療技術の発展などにより、100年前は40歳程度だったタイ人の平均寿命は、現在では平均70歳程度と大幅に伸びています。"

タイの人口は、人口オッチャーの予測では、2040年までは微増だが、この年の7,400万人をピークに減少に転じ、2050年には7,330万人になり、それ以降も漸減すると予測されています。今後タイが抱える問題は少子高齢化ですが、現在どのような状況にあるのでしょうか。

国連統計によれば、タイでは全人口に占める60歳以上の人口は1975年では5.6%(日本は11.7%)でしたが、2010年では11.5%となり(日本は30.5%)、2050年には26.4%(日本は44.2%)になると予測されています。因みに高齢者の割合が20%を超えると「高齢社会」と言われており、日本は30%超の「超高齢社会」に入っています。

WHO統計によれば、タイの合計特殊出生率は1.6ですので、若年人口の増加は今後期待できません。従って、タイが高齢化社会に突入するのはそんなに先のことではないと言えます。若年労働者の確保が困難になって来ている現状やシンガポールほどの規模ではないにせよ多くの外国人労働者が働いている状況を見ますと、高齢化社会に入りつつあると言えるでしょう。

高齢化社会になる理由はいくつかありますが、一つは少子化です。1980年代、タイでは新生児の数は年間100万人と言われていましたが、晩婚や非婚、避妊知識の浸透などで、1990年代後半には人口増加率は0.5%となり、2030年代にはほぼ0%になると予想されています。

今ひとつは長寿化です。食生活や生活環境の改善、医療技術の発達などにより、100年前は40歳程度だったタイ人の平均寿命は、現在では平均70歳程度と大幅に伸びています(男65.58歳、女73.01歳)。

労働人口減少に伴う経済活動の減速を防ぐには、労働の効率化、生産現場の機械化、新技術の導入などを含む様々な方策を官民一体で推進して行くことが不可欠です。手遅れにならないうちに具体策を策定し実行して行くことが肝要であることは言うまでもありません。■



Dr. Pongchai Athikomrattanakul

Director, Center for Logistics Excellence
King Mongkut's University
of Technology Thonburi
Email: Aponchai@gmail.com
www.facebook.com/Dr.Pongchai

県を經由してバンコクへ)、東西経済回廊(ミャンマーからタイ国ターク県、ピッサヌローク県—コーンケン県—ムクダハーン県を經由して、ラオスやベトナム中部へ)、南部経済回廊(ミャンマーのダウエイ深海港から、タイ国カンチャナブリー県—バンコク—サケート県を經由して、カンボジアやベトナム南部へ)があります。

また、経済・商業・工業成長傾向として、過去2~3年間は経済回廊沿いに拡大しており、特に近隣諸国との国境を有する県への拡大が著しく、チェンマイ・チェンラーイ・ピッサヌローク・サケート・ウボンラーチャターニー・ナコンラーチャシーマー・ムクダハーン・ノンカーイ・ウドンターニー・コーンケン等に限らず、タイ国中部の北・北部・東北部でも人口が多く、購買力が比較的高い大型都市でも成長が拡大している傾向にあります。

東西経済回廊(ミャンマーからターク県メーソット郡、ピッサヌローク県を經由して、ラオスやベトナムまで間近のムクダハーンへ)は、特に高い注目を集めています。なかでも、コーンケン県やウドンターニー県は、発展に欠かせない資源に恵まれた大型都市であり、たとえば、地理的条件が良好であるのみならず、空港・大学・病院・ショッピングセンター・ホテルや大型デパートなどの施設が整備されています。このことから、ASEAN経済コミュニティ(AEC)発足後の投資に関連して浮上する課題に対応することができるでしょう。

特にコーンケン県には、東西経済回廊(国道12号線)とミットラパーブ通り(国道2号線)があり、この2本の道路は北イサーンと中部イサーン、そしてタイ国北部とラオスを結

ぶ、タイ国東北部において重要な役割を果たす道路です。また、タイ国中部と東北部に、ペッチャブーン・ウドンターニー・プリラム・ナコンラーチャシーマー・ルーイ・マハーサラカムなど9県以上、接する県を持ちます。

このほかコーンケン県は、バーンパイン~サラブリー~ナコンラーチャシーマーを結ぶ都市間特別道路(モーターウェイ)建設推進や、コラート~ノンカーイを結ぶ高速鉄道建設推進など、イサーンへのアクセスをより快適にすることを掲げた、政府方針に基づくサポートを得ています。まもなく2015年に開始されようとしているASEAN貿易自由化に向けて、コーンケン県はますます栄進し、飛躍を遂げることでしょう。なぜならば、経済回廊は、ラオス・ベトナム・中国へとつながり、商業やツーリズムをより容易にするルートだからです。

これらのことから、今後、コーンケン県の商業や投資規模が拡大し、持続的成長を遂げることに期待するとともに、北イサーンの経済成長を確立し、ASEAN経済コミュニティ発足によって経済・商業・ロジスティクスの中心地となることに期待しています。また、ラオスやベトナムなど、インドシナへのゲートウェイとして発展することが重要なことといえます。■

イサーンの地方... インドシナへのゲートウェイ



ASEAN共同体(ASEAN COMMUNITY)は、商業面および経済面で特に高い関心を集めています。そして、ASEAN10カ国の中における、タイ国に関する関心は少なくありません。地理的な条件では、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ベトナム、マレーシア、シンガポールを含むインドシナ地域へのアクセスの中心にあるのです。

ASEAN共同体の形成によって、タイ国の経済・運輸システムが、より容易に周辺諸国に接続することとなるでしょう。そして、タイ国と国境を接する国々はもちろんのこと、ラオス・ベトナム経由で中国、ミャンマー経由でインドなど、タイ国への商業・投資拡大の機会を得ることとなるでしょう。

現在は、ASEAN共同体内の接続構築に関して、タイ国政府と民間セクターとともに、3本の経済回廊に高い関心を寄せています。これらはタイ国とインドシナ地域に発展をもたらす回廊であると言われており、南北経済回廊(中国南部からラオス北部、タイ国チェンラーイ

株式会社デンソーは 自動車部品用新倉庫をTPARKバンナに正式オープンしました。

世界をリードする自動車部品の製造・販売会社であるデンソー(タイランド)株式会社は、先日、新しい高品質倉庫をTPARKバンナにオープンしました。面積は23,200㎡、タイコン・ロジスティックス・パーク株式会社(TPARK)によって整備されたこの倉庫にはインフラ・公共施設・各種ファンリティが完備されています。

この新倉庫の操業により、デンソーは車両用電装部品、点火プラグ、自動車用空調システムなどタイにおける自動車部品の生産を支えるための効率的な商品保管及び配送業務管理が可能となり、それによって同社顧客の要求に即座に対応し且つ同社の将来の成長に資することが可能となります。当事業地は自動車産業の戦略拠点に位置しており、ウェルグロウ工業団地、バンパコン工業団地、アマタ工業団地、テパラック工業団地に近く、将来的にデンソーの事業発展をこの倉庫が支えて行くこととなります。■



写真:デンソー倉庫の開業式終了後、タイコン・ロジスティックス・パーク株式会社(TPARK)の Patan Somburanasin社長(右から2人目)よりPARKバンナの商品倉庫の発展の可能性を信頼してくださったデンソー(タイランド)株式会社の飯田康博社長(中央)にお祝いが贈られました。TPARK側経営陣からはMr.Tan Jitapunkul副社長(左端)、布施隆史・投資顧問(左から2人目)、堀江茂行・販売促進部長(右端)が開所式に同席しました。

TPARK'S NEW TENANTS



Pegasus Global Express (Thailand) Co.,Ltd.

ペガサス・グローバル・エクスプレス(タイランド)社は国際航空・海上・陸上貨物輸送、通関、その他のサプライチェーン管理サービスを提供する日本の物流会社で、同社は最近、業務の拡大に備えてTPARKバンナの倉庫一棟(2,450㎡)の賃借を決定した。



Panalpina World Transport (Thailand) Ltd.

パナルピーナ・ワールド・トランスポート(タイランド)社はスイスに本拠を置く世界的に著名なサプライチェーン会社のひとつで、その提供するサービスには、付加価値の高い包括的な物流サービスやサプライチェーン管理などがついた航空及び海上輸送が含まれている。同社は今年初め、物流サービスの効率を上げるため、TPARKバンナのFree Zone倉庫一棟(2,000㎡)を追加契約した。



Siam Nistrans Co., Ltd.

Siam Nistrans Co., Ltd.

「サイアム・ニストランス社(タイ日新)は、国際貨物輸送や通関業務などを行う日本の物流サービス会社、仕事量が拡大したため、TPARKバンナの倉庫一棟(2,450㎡)の追加契約を決定した。これにより同社の倉庫面積は7,450㎡となる。」



V-Serve Logistics Limited

ヴィーサーブ・ロジスティクス社はタイの物流サービス会社で、通関業務、倉庫業、製品配送、陸上・海上・航空輸送などのサービスを提供している。同社はTPARKレムチャバン-2の倉庫一棟(2,450㎡)の賃借を決定、今年初めから操業を開始した。

Available BUILDINGS



TPARK BANGNA

Location: Bangna Trad Highway km. 39

Free Zone

Warehouse Sizes: 1,250 - 2,450 sq m

Floor Load: 2 - 3 tons / sq m

Clear Height: 7 - 10 m



TPARK BOWIN

Location: Located inside the EPZ (Export Processing Zone), Chonburi Industrial Estate

General Zone

Warehouse Sizes: 2,000 – 3,200 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m



TPARK EASTERN SEABOARD 2 (A)

Location: Located on Highway 331

General Zone

Warehouse Sizes: 2,450 – 5,700 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m



TPARK LAEMCHABANG 1

Location: Approximately 4 km to U-turn

General Zone

Warehouse Sizes: 1,000 - 1,450 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m



TPARK LAEMCHABANG 2

Location: Second U-turn after TPARK Laemchabang 1 and then enter at Soi Mo Yoi Bowin

General Zone

Warehouse Sizes: 1500 – 9,000 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m

Free Zone

Warehouse Sizes: 2,450 - 4,050 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m



TPARK SRIRACHA

Location: Located on Highway 7 (outbound), approximately 14 km from Laemchabang Port

General Zone

Warehouse Sizes: 2,450-5,850 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m



TPARK PHAN THONG 1

Location: Opposite to Phan Thong Train Station

General Zone

Warehouse Sizes: 2,450-5,850 sq m

Floor Load: 3 tons / sq m

Clear Height: 10 m

FOR MORE INFORMATION

Tel: 086 342 9669

Email: logistics@ticon.co.th

www.ticon.co.th

Take a Break

パラネームヌアン



ベトナム料理は健康志向の人に人気があります。どのメニューにも多くの種類の野菜が調理材料や付け合せとして使用されており、美味しく体に良く、体重を気にする人には特に適したメニューと言われています。TAKE A BREAK コラム本号では、読者の皆様をTPARK BOWIN近くのレストラン「パラネームヌアン」(PORN NEM NOUNG)のベトナム料理にご案内したいと思います。

パラネームヌアンは、どのメニューも美味とお墨付きがついた素晴らしい本格ベトナム料理店です。この店はメニューが豊富ですが、私達が試食し、皆様にも是非試して頂きたいメニューは次のような料理です。ネムヌアン(NEM NOUNG): コメ製の皮で包んだ豚のミートボールと生野菜。特製タレつき。ヤムムーヨー(YUM MOO YOR): 香辛料の効いたサラダに入った豚肉の白いイサーンソーセージ。サイゴクイサーン(SAI GROK E-SARN): コメと豚肉の詰め物が入ったソーセージ。ガイトグルア(GAI TOD GLUEA): 鶏のから揚げ(塩味)。ムーゲー(MOO GAEW): 特製タレをつけて食べる冷たい薄切り豚肉。パクモユン(PAK MOR YUAN): 蒸したコメ製の団子と豚の詰め物のタピオカ団子。ムーマノー(MOO MANOW): 酸味と香辛料の効いたタレの豚肉。ポーピアソ(POR PIA SOD): 春巻き、ベトナムチャーハン(店側はこの料理は是非ポークスペアリブスープと一緒に召し上がって欲しいとのこと)。

この店の料理は美味で、価格も手頃です。太ることを気にせず満腹になり、お財布にも優しいお店です。■

味 ★★★★★
 価格 ★★★★★
 雰囲気 ★★★★★

パラネームヌアン

ベトナム料理レストラン「パラネームヌアン」: 営業時間9:00-22:00 休業日 毎月第3月曜日

所在地: TPARK Bowin近く

住所: チョンブリー県シーラーチャー 郡ポーウィントンボン第3村 299/38-39

電話: 082-477-8234



**WAREHOUSES
FOR RENT**

23 LOCATIONS
TOTAL
1 MILLION
SQ M



Contact us:

Tel +66 (0) 86342 9669

Email: logistics@ticon.co.th

www.ticon.co.th

TPARK

Right Warehouses... Winning Locations